



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 アライドアーキテクト株式会社
 コード番号 6081 URL <http://www.aainc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 壮秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 聡子
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6408-2791

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,922	4.0	131		84		129	
2019年12月期第3四半期	3,045	1.2	106		130		157	

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 161百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 107百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	9.24	9.23
2019年12月期第3四半期	11.24	

2019年12月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載して
 ありません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,121		1,695		53.2
2019年12月期	2,611		1,201		45.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,660百万円 2019年12月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00			
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	4,150	1.5	230	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年11月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	14,054,700 株	2019年12月期	14,042,700 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	23,544 株	2019年12月期	23,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	14,022,221 株	2019年12月期3Q	14,016,958 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. (1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

新型コロナウイルスにより大きく事業環境が変化中、日本のみならず世界全体としてDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の波が押し寄せ、本格的なデジタル・ソーシャル時代が到来しようとしています。

このような背景のもと、当社グループでは、企業のマーケティングにおけるDXやSNSによる発信を支援するため、マーケティング・ソフトウェアの提供やSNSマーケティング支援を中心とした事業を展開しております。

当社グループにおける新型コロナウイルスの影響につきましては、特に第2四半期連結会計期間（4-6月）において、一部の事業で顧客からの発注の減少・延期等が発生しておりましたが、第3四半期連結会計期間（7-9月）では国内海外の経済活動再開に伴い、その影響は概ね解消されました。なお、新型コロナウイルスによる影響は当連結会計年度中は一部の事業においては継続するものと予想しております。今後につきましては、経済情勢を注視し、業績に変動が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

当社の報告セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング支援の単一セグメントとしておりますが、事業区分ごとの概況は以下の通りであります。

なお、当社グループでは、経営管理指標として「付加価値売上」（注）を設定しており、売上高と共に収益性を図る指標として管理しております。

（注）付加価値売上＝（当社単体：売上高－直接原価）＋（連結子会社：売上総利益）

①マーケティング・ソフトウェア事業

自社開発の月額課金制SaaS型サービスやSaaSで補いきれないマーケティング施策の提供等によって、マーケティングのDX推進に貢献し、マーケティング人材の質的・量的な不足を補い、少ない広告予算でもより効果的な成果を上げるための支援を行っております。

当第3四半期連結会計期間（7-9月）におきましては、SaaS型サービスについては、ダイレクトマーケティングの成果向上を実現するソフトウェア『Letro（レトロ）』や、Twitterによるプロモーションを効率的に行うためのツール『echoes（エコーズ）』を中心に案件数が順調に増加しました。また、5月にリリースした動画作成ツール『LetroStudio（レトロスタジオ）』も順調に契約数を伸ばしております。一方、SaaS以外のスポット売上は、新型コロナウイルスの影響でキャンペーン案件等が一時的に減少していたものの、緊急事態宣言解除後は需要が回復いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間におけるマーケティング・ソフトウェア事業全体でも、売上高及び付加価値売上は前年同期比で増加いたしました。

②マーケティング・ソリューション事業

昨今ではSNSを通じた「ファン」の存在をマーケティングに活用し、ビジネスの成長を目指す概念が浸透しつつあります。「SNS」や「ファン」をキーワードにマーケティング活動の企画立案から施策の実行までを包括的に支援するSNSマーケティング支援、ファン育成を中心とした事業を行っております。

当第3四半期連結会計期間（7-9月）におきましては、新型コロナウイルスによって予算が縮小傾向にあったSNSマーケティングの需要が回復し、長期的なマーケティング戦略の立案から運用まで一貫した支援を提案することで顧客あたりの受注額の増加に取り組んだ結果、売上高及び付加価値売上は前年同期比で増加いたしました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間におけるマーケティング・ソリューション事業全体では、上期において一部顧客の広告出稿が減少したこと等の影響が挽回できず、売上高及び付加価値売上は前年同期比で減少いたしました。

③クロスボーダー事業

近年急速に市場が拡大している越境ECへの出店による中国進出をしたい日本企業や、インバウンド市場において訪日外国人をターゲットに商品やサービスを提供したい企業のうち、特に化粧品や健康食品、日用品等の消費財メーカーを中心に、日本の商品に愛着のある在日中国人や中華圏で人気のある日本人インフルエンサーの発信力を活用したプロモーション等の支援を行っております。

当第3四半期連結会計期間（7-9月）におきましては、上期に引き続き新型コロナウイルス禍に伴いインバウンド需要が回復せず、それに対応するキャンペーン等の支援の減少影響を受けたこと、また中国における大規模なECセールがない季節的な要因により中国ECでのマーケティング関連の需要が伸び悩んだことにより、クロスボーダー事業全体として、売上高及び付加価値売上は前年同期比で減少いたしました。

一方、当第3四半期連結累計期間におけるクロスボーダー事業全体では、インバウンド需要に対応するキャンペーン等の支援は影響を受けたものの、上期において中国ECでのマーケティング関連の需要が好調であったことにより、売上高及び付加価値売上は前年同期比で増加いたしました。

④クリエイティブ・プラットフォーム事業

シンガポール子会社であるCreadits Pte. Ltd. (以下、「Creadits」という。)は、欧米を中心としたグローバル市場において、デジタル広告制作を低コストで効率的に行いたい企業と、スキルの高い世界中のクリエイターをマッチングする、広告クリエイティブ制作に特化したグローバルプラットフォーム「CREADITS®」を提供しております。

当第3四半期連結会計期間(7-9月)におきましては、ゲーム等の巣籠り需要関連の顧客からの受注がさらに拡大しており、また単価の高い3Dのクリエイティブ制作の受注が増加し、売上高及び付加価値売上は前年同期比で大きく伸長、9月には単月黒字化を達成いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間におきましては、特に上期において新型コロナウイルス禍による欧米各国でのロックダウンによる影響を受けたものの、ゲーム業界等からの3Dクリエイティブ制作の受注増加等により、売上高及び付加価値売上は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,922,568千円(前年同期比4.0%減)となりましたが、収益性の高い自社サービスに注力したことにより、付加価値売上は1,697,152千円(前年同期比5.9%増)、売上総利益は1,478,355千円(前年同期比8.0%増)となりました。

また、営業利益は、売上総利益の増加等に伴い131,732千円(前年同期は営業損失106,282千円)となり、そのうちCreaditsの営業損失が109,955千円(前年同期のCreaditsの営業損失は247,365千円)と赤字幅を縮小したことにより大幅な利益改善を果たしました。経常利益は、為替差損を計上したこと等により84,405千円(前年同期は経常損失130,570千円)となり、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により129,590千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失157,598千円)となりました。

売上高、付加価値売上高、売上総利益及び営業利益の状況を表で示すと、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	前年同期比
売上高	3,045,409千円	2,922,568千円	△122,840千円
付加価値売上	1,602,976	1,697,152	94,175
売上総利益	1,369,320	1,478,355	109,035
営業利益(△は営業損失)	△106,282	131,732	238,015

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて510,678千円増加し、3,121,897千円となりました。これは主に、現金及び預金が、当社における新規借入及びCreaditsにおける第三者割当増資等により596,018千円増加した一方で、その他流動資産が110,360千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて16,784千円増加し、1,426,654千円となりました。これは主に、買掛金が103,367千円増加したこと及び新規借入を行ったこと等により短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が97,032千円増加した一方で、長期借入金が160,143千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて493,894千円増加し、1,695,243千円となりました。これは主に、Creaditsにおける第三者割当増資等に伴い資本剰余金が327,186千円増加したこと及び四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が116,876千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年11月13日)付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,346	1,252,365
受取手形及び売掛金	700,332	767,923
仕掛品	3,348	2,439
その他	216,963	106,602
貸倒引当金	△42,157	△71,366
流動資産合計	1,534,832	2,057,964
固定資産		
有形固定資産	98,201	71,386
無形固定資産		
のれん	-	8,473
その他	123,783	158,205
無形固定資産合計	123,783	166,678
投資その他の資産		
投資有価証券	766,451	739,131
その他	98,268	97,116
貸倒引当金	△10,318	△10,378
投資その他の資産合計	854,400	825,869
固定資産合計	1,076,386	1,063,933
資産合計	2,611,219	3,121,897
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,976	315,343
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	329,580	326,612
未払法人税等	17,029	58,358
その他	285,461	219,807
流動負債合計	844,046	1,020,121
固定負債		
長期借入金	561,707	401,564
繰延税金負債	4,116	4,969
固定負債合計	565,823	406,533
負債合計	1,409,870	1,426,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,987	832,689
資本剰余金	816,307	1,143,493
利益剰余金	△501,231	△384,355
自己株式	△11,915	△11,915
株主資本合計	1,135,147	1,579,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,096	31,410
為替換算調整勘定	25,556	49,644
その他の包括利益累計額合計	52,653	81,055
新株予約権	10,598	7,742
非支配株主持分	2,950	26,534
純資産合計	1,201,348	1,695,243
負債純資産合計	2,611,219	3,121,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,045,409	2,922,568
売上原価	1,676,089	1,444,213
売上総利益	1,369,320	1,478,355
販売費及び一般管理費	1,475,602	1,346,622
営業利益又は営業損失(△)	△106,282	131,732
営業外収益		
受取利息	36	73
受取配当金	3,376	168
補助金収入	7,468	4,602
その他	595	602
営業外収益合計	11,477	5,445
営業外費用		
支払利息	4,617	5,229
株式交付費	61	12,521
為替差損	23,883	20,132
投資事業組合運用損	1,946	1,049
持分法による投資損失	5,257	12,299
その他	-	1,540
営業外費用合計	35,764	52,773
経常利益又は経常損失(△)	△130,570	84,405
特別利益		
新株予約権戻入益	323	2,856
投資有価証券売却益	17,238	114,703
段階取得に係る差益	-	8,721
特別利益合計	17,562	126,281
特別損失		
投資有価証券評価損	936	-
関係会社整理損	-	4,404
特別損失合計	936	4,404
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,944	206,282
法人税、住民税及び事業税	39,987	74,512
法人税等調整額	1,600	△1,050
法人税等合計	41,588	73,462
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△155,533	132,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,065	3,229
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157,598	129,590

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△155,533	132,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,149	4,313
為替換算調整勘定	20,050	24,088
その他の包括利益合計	48,199	28,402
四半期包括利益	△107,333	161,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,398	157,992
非支配株主に係る四半期包括利益	2,065	3,229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング支援を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。